

GM

ガバナー月信

Rotary
District 2710 

2024.06

Governor's Monthly Letter vol.12

〔ガバナー信条〕
平和の種をまこう!!
〜ロータリアンにだけ限らず〜

Contents

ガバナーメッセージ/今号の表紙写真	2	IM報告	5~7
ロータリー親睦活動月間によせて	3	新会員・物故会員紹介/会員増減・出席率	
国際ロータリー第3690地区との 日韓インターアクト交流事業について	4		

2023-24 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

米山奨学会事業の素晴らしさ

国際ロータリー第2710地区 2023-24年度ガバナー 井内 康輝



私が医学部に奉職していた頃、故 真鍋欣良パストガバナーが私の部屋を訪ねてこられたことがありました。用件は、私の教室に当時在籍していた中国からの留学生のことでした。米山奨学生として応募されているが、どんな人物で、研究の見通しはどうかなどと尋ねられ、その頃は、ロータリーのことに全く無知であった私は、何をどう答えてよいのか戸惑いました。その後、ロータリーに入会して、所属クラブから米山奨学生のカウンセラーをやるように命ぜられた時も、その役割に関する情報がほとんどなく、韓国から薬学部留学していた方のカウンセラーを務めました。この方とは次第に連絡が疎になり、現在の状況が把握できていないのは、大変残念なことです。

2024年4月14日に、2024-25年度の米山奨学生のオリエンテーションの会が開催されました。新しく選ばれた16名の奨学生とそのカウンセラー及び大学での指導の先生方に集まっていたいただき、2時間以上にわたって奨学生としての心得や義務が説明され、その後に懇親の場をもちました。地区には、担当委員会があり、選考から修了までの全てを遂行してもらっていますが、この委員会委員を務めた経験がない場合には、以前の私と同じように、この米山奨学会事業の全容は分からない儘、過ごされていると思います。

まず選考は、指定校（広島県と山口県の大学など）の選定から始まり、奨学生の各大学別の人数枠を定めて、各大学に推薦をお願いします。各大学での学内選考をへて、30-40名の推薦が上がってきますが、この方々に対して、志望理由や研究内容の書面での提出が求められ、委員による採点が個別に行われた上で、指定された日におひとりずつの面接が行われます。前年の地区からの寄付金額にもとづいて、地区毎に人数が決められています。

(2710地区は2024-25年度は22名)ので、この人数枠の中で選考され、晴れて奨学生として採用されます。その後、お世話するクラブ、カウンセラーや指導する大学の先生が決まり、前述のオリエンテーションの運びとなります。

奨学生への月額支給額は、大学院生14万、学部生10万と他の奨学金に比べ高額です。さらに世話クラブやカウンセラーによるさまざまな支援やクラブ行事（奉仕活動など）への参加などがあり、これが米山奨学会事業を特徴づけています。年に1度の研修旅行などもあり、国をこえた奨学生同志の繋がりを作ることができるのも貴重な体験といえるでしょう。運営の費用としては、約14億円かかりますが、これらは日本全国のロータリアン約83,000人の寄付で賄われています。過去、特定の国の出身者が50%以上を占めたことから、多くの国への門戸の開放が求められ、近年、出身国が片寄らないような配慮がなされています。2023-24年度の奨学生数は863人（海外校友会の推薦などを加えて889人）であり、これまでの累計奨学生数は23,509人（2023年7月現在）で、その出身国は世界131の国と地域に及びます。地区内全72クラブ中71クラブには普通寄付金を納入いただき、個人の平均寄付額は11,899円です。この米山奨学事業の使命は、日本と世界とを結ぶ懸け橋となって、国際社会で活躍する人材を育成し、ロータリーのめざす“平和と国際理解の推進”をすすめることにあります。私が掲げる今年度の信条“平和の種をまこう!!～ロータリアンにできること～”に沿えば、米山奨学会事業は、平和の種として大切な一事業です。奨学生の人達と接する時、この人達と日本の青少年が手を携えて必ずや世界の平和に貢献してくれるであろう、と常に感じています。

今号の表紙：平和の灯

平和の灯（ともしび）は、平和記念資料館から原爆死没者慰霊碑、原爆ドームを結ぶ一直線上にあり、東京大学教授（当時）丹下健三氏が設計したものです。台座は手を合わせ、手のひらを空に向かって広げたような形を表現しています。灯は、全国12の宗派からの「宗教の火」と、全国の溶鉱炉からの「産業の火」を合わせたもので、昭和39年（1964年）8月1日に点火されました。水を求めてやまなかった犠牲者を慰めるとともに、核兵器の廃絶と世界恒久平和実現まで燃やし続けられています。



ロータリー親睦活動月間によせて

国際ロータリー第2710地区 パストガバナー

金子 信



会員間の親睦といえ、とかく気の合う仲間同志の飲食や、好きなゴルフプレイ等が思い浮かぶ…。

だがそれではむなしく思うし、ロータリー会員として決して満足はしないだろう。よくよく考えてみると、それは日頃の例会に楽しく出席出来ることだと私は思っています。

■当然ながらも会員の交わりは、異業種、異地域間の交流です。更に誇張すれば異文化交流ともいえるでしょう。そこで求められる重要な要素は、価値観の多様性であると思います。

さて言葉のやりとりには、会話（カンバセーション）、対話（ダイアローグ）、討論（ディベート）とあります。日本人は会話と対話を同じように使っていますが、西洋では解釈を変えています。この違いを意識して、今日の国際化社会においては対話型社会に移行すべきと思います。

元来コミュニケーションは、相手と話をすればするほど各々の違いがより鮮明になるところに意義があります。会話はどちらかといえば、日本独特の「村社会」における親しい人との間での話であり、それに対して対話は価値のすり合わせであると思うのです。つまり共通点ではなく相手との違いを見出し、決して結論は出さなくてよいのです。

対話型社会とは、議論の前後で自分の考えが変わってしまったら負けとを感じるような論争ではなく、逆に自分が変化していくことをよしとすること、まさにロータリーの会員構成からしても各々が和やかな談話こそ大切にしたいと思います。

私達日本人は島国で育ち、対話型社会は苦手の人が多いように思う中で、せっかくのロータリー例会等で習得することの大切さを感じます。

■次に切り口を変えて「**出会い**」について述べます。皆さんが御存知の絵本作家の安野光雅^{ミツマサ}氏が生前、最も記憶に残る出会いについて述べておられます。それは青年時代に帰省（島根県津和野町）し、又、郷里を離れる折のことです。山間部の辺鄙なバス停に行くと、一人のお婆さんがすでに居られ、自分にいきなり声をかけてこられました。「どこまで行くの」と続けて「一人道遠いのコトヨ、二人道近いのコトヨ…」言い回しは少し違ってもしかにも苦勞人で心優しい人に思えてすぐ胸襟を開いてお喋りしながらの道中、あつという間に目的地に着いた思い出です。

■結びに私の若い頃に、ロータリーで出会った先輩と「**一度しかない人生を**」より楽しく、しかも豊かに送ることについて熱く議論をし、出した結論を3つにまとめました。

第1は、書物、絵画、音楽等に興味を示し、感性を研ぎ感動の機会を増やす。

第2は、良き師と何人の出会いがあるか、といっても師には限界がある。友人が良い、多い程良い、人生で最も大切な財産と認識しよう。

第3に、種々の素晴らしい体験を、己の人生にどれだけ生かせるか。

以上3条件が、これからの長い人生、日々努力し積み重ねていく指針になると思われる。私はその頃の造語で「**学習歴**」と銘打って大切にしてきたつもりだが、果たして今日振り返ってみてどうだろうか。傘寿の今思えば正に「ロータリーライフ」そのものに思えてなりません。

「例会出席こそロータリーの親睦です」

国際ロータリー第3690地区との 日韓インターアクト交流事業について

国際ロータリー第2710地区 インターアクト委員長 佐古 隆司



日韓インターアクト交流は、ホームステイ受入と韓国研修旅行の2事業から成り立っています。

コロナの影響で、4年間中止が続きましたが、井内ガバナーの強い意向で、再開を検討することとなりました。そこで、まずはIAC/提唱RCに、課題や要望をアンケートし、その結果を委員会で協議し、一部ルールを見直し、10名以下でスタートしました。特にコロナ以前から、ホームステイの受入不足は顕著な課題でしたので、今年度からは、原則として、受入をした生徒のみが、韓国に訪問できるルールと改め、ステイ先の確保に努めました。そのため今後は、受入も訪問も、山口県と広島県で交互開催となります。

1) ホームステイ受入 2024/1/20~21

山口県山口市

韓国：IA 9、ロータリアン 1、ガイド 1

日本：IA 9、ロータリアン 6、教師 7、

米山生 2（通訳）、野田学園IAC、IA保護者

ステイ先確保から、交流会、先方をもてなす懇親会まで、ホストの山口RC、野田学園IACの皆様が、素晴らしいホスピタリティーで対応されました。先方のインターアクターが本人未自覚のアレルギーを発症されるトラブルもありましたが、迅速に対応いただき、大事に至りませんでした。この場を借りて、ホストRC/IACの皆様は厚く御礼申し上げます。

1泊の短い間でしたが、インターアクター達も充実した時間を過ごせたようで、解散時は、名残惜しくハグをして連絡先を交換していました。必要なのは時間ではなく、互いを理解したいという純粋な気持ちなのだ、改めて学ばされました。

2) 韓国研修旅行 2024/3/23~25

韓国富川市、ソウル市

日本：IA 9、ロータリアン 2、教師 1、

米山生 1（通訳 現地合流）

韓国：IA 7、ロータリアン 7

韓国研修旅行は、ホストを置かず地区主導で進めます。4年間のブランクがある中で、双方が手探りで準備し、直前には、先方IAのコロナ罹患により、ステイ先がなくなるハプニングもありましたが、第3690地区の韓（ハン）親善委員長に前日まで奔走いただき、無事全員がホームステイすることができました。「再会時の生徒達の笑顔が一番でした」と引率の中村先生（野田学園）が報告された通り、彼等の喜びで準備の苦労は吹き飛びます。また引率ロータリアンの藤井委員（福山北RC）、石橋委員（柳井RC）からも、両地区の友好関係もしっかり確認できたとの成果報告がありました。

今回も1泊のホームステイでしたが、受入と訪問を同じIAとしたことで、より深い交流が図れたようですし、ステイ後も、民族村博物館や青瓦台などの見学で韓国文化に触れることで、大いに学びのある研修となったようです。

国や文化を超えた「きずな」は、今植えることのできる「平和の種」です。今後もこの事業を通じて、交流の輪が広がっていくことを祈念いたします。





IM報告 (開催順)

Group8
グループ

| 2024/3/9

Group10・11
グループ

| 2024/3/20

Group1
グループ

| 2024/3/23

Group9
グループ

| 2024/3/30

Group12
グループ

| 2024/4/6



国際ロータリー第2710地区 2023-24年度
グループ8ガバナー補佐
呉南RC 宇都宮 昭憲

グループ8では、3月9日（土）に呉市内にあるクレイトンベイホテルに7クラブ約170名のロータリアンに集まって頂き『ロータリー活動と平和への歩み』というテーマのもとIMを開催しました。

IMの第一部では法相宗大本山薬師寺執事長の大谷徹柴師をお招きし、『平和は調和から』と題してご講演を頂きました。なぜに人は紛争や戦争を起こしてしまうのか、宗教家として人の心の原点と仕組みを説かれ、心の持ち方の大切さについて熱くご講演を頂きました。

続く第二部では、『平和の種をまくロータリー活動とは』そして『ロータリーが考える青少年奉仕』の二つのテーマについて、福田多喜二会員（呉RC）と廣幡勝祐会員（西条RC）お二人のファシリテーターと7クラブから選ばれた選りすぐりの精鋭の皆さんによってRLI形式ディスカッションを開催させていただき、大変熱く充実したIMとなりました。終了後は呉の地元で活躍している和☆ロックによる和太鼓も披露され、大変賑やかな懇親会で本年度のIMを締めくくりました。井内ガバナーをはじめご参加いただいた皆様に誌面をお借りして厚く御礼を申し上げます。



国際ロータリー第2710地区
2023-24年度
グループ10ガバナー補佐
福山東RC 矢吹 泰孝



国際ロータリー第2710地区
2023-24年度
グループ11ガバナー補佐
松永RC 中根 洋一



国際ロータリー第2710地区 2023-24年度
グループ1ガバナー補佐
下関西RC 増井 聡彦



3月20日、G10・G11合同IMを開催しました。井内ガバナーの信条であります“平和の種をまこう!!～ロータリアンにできること”に沿って、約1年近く準備をしてきました。日頃の私達ロータリアンの活動、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕が、実は平和の種をまいているという認識と、さらに自信を持って奉仕活動に専念することに主眼を置きました。そして本会議第1部では、平和の礎は教育であると考え、教育コンサルタントの林純次氏をお迎えして「平和と教育」について講演していただきました。

第2部では4クラブの代表の方々に登壇していただき、平和の種をまく奉仕活動について事例報告をしていただき、RLI方式でパネルディスカッションをしました。各クラブが、それぞれの発表を参考にして、今後クラブマッチングで奉仕活動をする原動力になり、クラブの活性化に繋がることを期待しております。

懇親会では、中学吹奏楽部の生徒さん達の演奏を楽しみました。ご協力頂いた皆様に心から感謝を申し上げ、IMのご報告とさせていただきます。



令和6年3月23日(土)14時半から下関シーモールパレスにおいて井内康輝ガバナーご臨席のもと下関西クラブ主管にて総数264名中約140名の参加にて開催しました。本年のIMのテーマは「女性の社会進出について考えよう」と題して、第1部は元国連ハビタット親善大使・異文化コミュニケーション、マリ・クリスティーン様による「ジェンダーギャップ指数世界125位の日本をどう考えるか」という講演にて、英語での翻訳が難しいといわれる阿吽の呼吸に見られる日本古来の価値観に関連付けながらジェンダーに関する意識改革が何故進まないのかをわかりやすく説明されました。第2部のパネルディスカッションのテーマは「グループ1内の女性会員増強について」として各6クラブから推薦されたロータリアン(内女性会員2名)により女性会員増員を目指して様々な意見が活発にされました。特に女性会員の入会を促進してクラブ活性化の先頭に立って活躍して欲しいということで総括を致しました。最後に恒例の懇親会を1年ぶりに開きグループ1内の親睦と団結を誓い終了いたしました。





国際ロータリー第2710地区 2023-24年度
グループ9ガバナー補佐
三原RC **田坂 潤**

2024年3月30日（土）、三原国際ホテルにて開催しました。ご来賓として、井内康輝ガバナー、亀田茂登次年度G9ガバナー補佐、マスウド・ソバハニ高松南RCパスト会長をお迎えしました。

講演講師には、マスウド・ソバハニ高松南RCパスト会長に講題を井内ガバナーの信条「平和の種をまこう!!～ロータリアンにできること～」としてお願いしました。

ソバハニ様は、1955年イランで生まれ、13才小学校卒業後ニューヨークへ、1981年アメリカ国籍取得、1986年日本に移住、高松南RC2013～14第57代会長をされ、現在も多方面にて活躍されています。

今、世界は紛争が多発しています。ロータリアンにできることも平和な世界でこそ多くの活動ができます。ソバハニ様の歩まれた人生観を語っていただきました。

懇親会前のセレモニーは、如水館中学高等学校書道部の皆様により書道パフォーマンスをおこなっていただきました。

G9、尾道RC・尾道東RC・因島RC・竹原RC・広島空港RC・ホストクラブ三原RCの皆様には大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。



国際ロータリー第2710地区 2023-24年度
グループ12ガバナー補佐
庄原RC **中間 幸子**

G12インターシティ・ミーティングを4月6日（土）庄原グランドホテルにて井内ガバナーご出席のもと100名の参加者で盛大に開催いたしました。

第1部は「平和の種をまこう!!～ロータリアンにできること～」の信条のもとG12は「～新しい一歩を踏み出すために～」とテーマを掲げ、5クラブが発表しました。地域に根差した奉仕活動のもと新しいことへの挑戦、地域の人々を巻き込んでの活動について大変中身の濃い意義ある活動報告でした。

第2部は宇部西RC金子淳子氏をお迎えして「すべての子供たちのウェルビーイングのために～ロータリアンができること～」と題して講演を頂きました。常に平和の種を探しながら膨大なスケールの奉仕活動に感銘いたしました。

第3部懇親会では地元県立大学の学生さんに「よさこい神紅楽」の踊りを披露して頂き大変盛り上がり楽しい懇親会となりました。

各自が目の中の一人の方の幸福を願い奉仕していくことが、やがては大きな波となり平和な世界が実現することを確信しています。

今回IMに参加して頂いた方、運営に尽力して頂いた方々に感謝申し上げます。



《 国際ロータリー第2710地区 新会員・物故会員紹介 》

村田 巨弘 長門 2024年4月10日 鋼製建具販売	伊藤 文一 下関東 2024年4月25日 薬剤師	大川 純一 下関東 2024年4月25日 建設業	村上 慎 下関北 2024年5月1日 地方銀行	大松 正宏 下関西 2024年4月25日 証券業	住宮 一人 萩 2024年4月25日 普通銀行	藤本 昌樹 美祢 2024年4月2日 珪砂加工業	小池 政弘 山口 2024年4月7日 商業銀行	立石 出 山口 2024年4月17日 総合建設
長澤 慶太 山口 2024年4月7日 損害保険	松村 政宏 山口 2024年4月17日 地方金融	坂倉 直人 山口南 2024年5月10日 写真館	長沼 正貴 徳山 2024年4月18日 証券業	川腰 藤雄 徳山 2024年4月25日 生命保険	崎村 健二 徳山 2024年4月25日 化学製品製造	長田 昌大 徳山東 2024年4月24日 商業金融	末村 元正 岩国中央 2024年4月17日 商業銀行	島崎 康隆 柳井 2024年4月16日 普通銀行
古屋 繁己 柳井 2024年4月16日 普通銀行	田村 秀樹 広島東 2024年4月3日 広告取扱	渡邊 寛之 大竹 2024年4月16日 信用金庫	小出 哲義 大竹 2024年4月23日 土地家屋調査士	吉田 武史 福山赤坂 2024年4月23日 マーケティング業	末田 文之 福山南 2024年4月25日 信用金庫	井上 武 福山南 2024年4月25日 生命保険	藤岡 敏雄 東城 2024年4月1日 金融業	

謹んで追悼の意を表します

	防府南 故 門田 晴善 殿 ご逝去 (享年79歳) 2024年4月12日 【ロータリー歴】 2010-11年度 グループ3ガバナー補佐 2003-04年度 会長 2017-18年度 会長 ベネファクター ボール・ハリス・フェロー +4 第3回米山功労者マルチプル 【職業分類】 不動産業		呉東 故 石田 正明 殿 ご逝去 (享年80歳) 2024年5月11日 【ロータリー歴】 2015-16年度 副会長 2016-17年度 会場監督 2017-18年度 ロータリー財団委員長 2018-19年度 副会長 2019-20年度 クラブ管理運営委員長 他歴任 ベネファクター ボール・ハリス・フェロー +2 第4回米山功労者マルチプル 【職業分類】 不動産賃貸
--	--	--	--

ガバナー月信vol.11 (24.05月号) P7「国際ロータリー第2710地区 新会員紹介」に以下の通り誤りがございましたので、訂正してお詫申し上げます。
松永RC榎原由和様 職業分類 (誤) スーパーマーケット⇒(正) コンビニエンスストア

《 国際ロータリー第2710地区 2023-24年度会員増減・出席率 (2024年4月度) 》

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月 末日	内女性	本年度 入会 退会	
1	長門	95.15	21	23	3	3	1
	下関	69.88	45	44	2	4	5
	下関中央	74.62	40	44	6	4	0
	下関東	75.46	62	67	6	6	1
	下関北	73.51	65	56	5	1	10
	下関西	86.23	31	34	1	6	3
	計	79.14	264	268	23	24	20
2	萩	97.65	49	46	3	2	5
	萩東	96.59	24	25	1	3	2
	美祢	81.90	19	20	1	3	2
	小野田	83.35	33	35	2	2	0
	宇部	92.35	43	40	3	1	4
	宇部東	74.97	10	10	1	0	0
	宇部西	88.71	50	52	5	3	1
計	87.93	228	228	16	14	14	
3	防府	86.03	50	53	1	6	3
	防府北	91.07	22	25	4	5	2
	防府南	79.97	45	45	9	2	2
	山口	88.96	40	48	5	12	4
	山口中央	88.99	26	26	1	2	2
	山口南	94.06	40	40	8	4	4
	計	88.18	223	237	28	31	17
4	光	75.44	51	55	3	5	1
	周南西	82.00	57	55	6	5	7
	徳山	98.95	44	41	2	4	7
	徳山セントラル	75.80	22	22	2	0	0
	徳山東	100.00	43	42	1	2	3
	計	86.44	217	215	14	16	18

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月 末日	内女性	本年度 入会 退会	
5	岩国	79.07	62	66	0	9	5
	岩国中央	84.80	40	39	6	2	3
	岩国西	86.99	59	60	5	3	2
	柳井	100.00	28	29	2	4	3
	柳井西	92.71	25	27	7	3	1
	計	88.71	214	221	20	21	14
6	広島	98.71	113	123	2	22	12
	広島安芸	98.38	41	40	3	1	2
	広島安佐	87.36	17	17	1	1	1
	広島東	96.52	108	112	11	11	7
	広島北	93.72	104	102	0	3	5
	広島陵北	92.24	48	46	2	1	3
大竹	84.23	27	28	0	3	2	
計	93.02	458	468	19	42	32	
7	広島中央	100.00	72	71	6	2	3
	広島廿日市	92.22	20	25	2	5	0
	広島城南	99.18	40	41	3	1	0
	広島南	100.00	87	85	0	2	4
	広島東南	100.00	93	95	11	10	8
	広島西南	95.99	63	63	1	5	5
広島西	99.46	89	91	5	2	0	
計	98.12	464	471	28	27	20	
8	江田島	91.01	18	17	0	0	1
	東広島	82.65	22	23	2	1	0
	東広島21	82.93	16	17	4	2	1
	呉	86.27	73	72	4	5	6
	呉東	81.95	32	30	2	0	2
	呉南	88.37	56	54	2	1	3
西条	97.18	38	42	2	6	2	
計	87.19	255	255	16	15	15	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月 末日	内女性	本年度 入会 退会	
9	広島空港	80.45	28	28	2	0	0
	因島	97.83	16	17	0	2	1
	三原	90.73	49	51	0	4	2
	尾道	73.43	80	76	3	2	6
	尾道東	90.81	49	49	7	1	1
	竹原	78.84	11	11	2	1	1
計	85.35	233	232	14	10	11	
10	府中	95.18	17	14	2	0	3
	福山	92.50	86	84	2	6	8
	福山東	75.21	42	40	3	0	2
	福山丸之内	88.02	29	27	1	3	5
	鞆の浦	83.55	21	20	0	0	1
	福山REC2710※	98.89	8	9	1	2	1
計	88.89	203	194	9	11	20	
11	福山赤坂	70.45	52	53	4	2	1
	福山北	94.80	30	30	2	1	1
	福山南	75.16	56	58	2	5	3
	福山西	86.76	36	40	5	6	2
	松永	89.68	49	55	4	6	0
	計	83.37	223	236	17	20	7
12	吉舎	83.67	10	10	0	0	0
	三次	79.37	38	41	2	4	1
	三次中央	91.83	34	36	5	2	0
	庄原	94.42	37	29	3	0	8
東城	78.75	14	14	1	1	1	
計	85.61	133	130	11	7	10	
第2710地区計	87.44	3115	3155	215	238	198	

※正式名称「福山ロータリーEクラブ2710」
※システムの都合上、平均出席率は暫定的な数字となっております。